

令和4年度  
事業報告書

令和5年5月  
学校法人 竹早学園

# 目 次

- I. 法人の概要・・・・・・・・・・ 1
- II. 法人の事業概要・・・・・・・・ 5
- III. 財務の概要・・・・・・・・・・ 7
- IV. 各部門の活動の状況・・・・・・・・ 8

# I. 法人の概要

## 1 建学の理念・教育目標

### (1) 建学の理念

日本の幼児教育者育成の先駆けとして135年にわたって、幼児教育界に貢献してきた本学は「誠実にして有為な幼児教育者の養成」ならびに「知・情・意等の芽生えを育み、心身の健全な涵養を図り、円満な人格形成の素地を養成」を建学の精神としている。

- ・本学は、これまでに培ってきた「幼児教育者養成としての歴史と伝統」を基盤に、きめ細やかな教育指導を行い、高い専門性を身に付けた、実践力のある保育者を養成する。
- ・本学は、社会の要請に応えることのできる、創造性豊かで、社会のあらゆる場で活躍のできる有能な人材を養成する。
- ・本学は、人間教育に力を入れ、知・情・意・体のバランスのとれた人材を養成する。

### (2) つつじがおか幼稚園の教育目標

#### (i) 目ざす園児の姿

- ①心身ともに健康な子ども（体）
- ②友達と仲良く助け合う子ども（情）
- ③個性豊かで創造力に富む子ども（知）
- ④物事に進んで取り組む子ども（意）

#### (ii) 本園の方針

「一人一人を見つめ 一人一人を伸ばす」

- ①「本園に入園してよかった」と子ども・保護者一人一人が充実感をもつ園
- ②全教職員で全員の子どもをみつめ、寄り添い、育てる園
- ③園児一人一人に目・手・言葉・心をかけ、自立の支援を行う園

### (3) 竹早教員保育士養成所の教育の目的・3つのポリシー

#### (i) 教育の目的

乳・幼児期は、乳・幼児が生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して、人間形成の基礎を培う重要な時期です。多くの乳・幼児にとって、幼稚園や保育所（園）、認定こども園などでの生活は両親から離れ、同年代の子どもと一緒に過ごす初めての集団生活です。保育者にとって乳・幼児は、幼くてかわいいという存在であり、乳・幼児にとって保育者は、その成長に全人格でかかわっているという存在です。「教育は人なり」と言われてきました。この言葉の意味は、人間の持つ魅力・人間としての行為、人間としての思いやりなどが、他の人間に影響を及ぼし、その人格形成に大きな要素となっているということです。保育者を目指す学生は、自らの理想とする保育者像をイメージし、社会的常識（挨拶や言葉遣いなど）を身に付け、各種の技能を磨き、その実現のために努力することが求められています。

本校では、学則第一条に「本養成所は、教育基本法及び学校教育法並びに児童福祉法の理念に則り、誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成することを目的とする」と掲げ、教育活動に取り組んでいます。

(ii) 3つのポリシー

○ディプロマ・ポリシー

竹早教員保育士養成所は「誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成する」を教育の目的標としていることから、所定の単位数を修得し、次に示す能力や知識・技能を身に付けた学生に卒業を認定する。

- ①保育者としての使命感の自覚及び求められる専門的知識と思考力・判断力
- ②教育・保育の場における様々な課題に対応できる実践的な技能
- ③教育・保育活動に必要とされるコミュニケーション能力及び多様な人と協働する力

○カリキュラム・ポリシー

本課程は教育職員免許法に定める幼稚園教諭2種免許状及び児童福祉法施行令に基づく保育士資格の取得要件を基盤に「誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成する」ことを目的とし、2年間の学修で理論と実践を体系的に学べるカリキュラム構成になっている。

カリキュラムの編成は以下のようになっている。

- ①保育の本質や目的を理解し、子どもの成長・発達について学ぶカリキュラム
- ②保育内容と指導法について理論に裏付けられた実践力を身に付けるカリキュラム
- ③子どもの生活と遊びを豊かにするために必要な知識や技術を学ぶカリキュラム
- ④教育実習、保育実習、保育補助活動等の実践的な授業を重視したカリキュラム

○アドミッション・ポリシー

本養成所の教育の目的は「誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成する」ことである。よって次のような人を求める。

- ①「子どもが好き」という優しさや思いやりがあり、保育者になりたいという強い気持ちをもっている人
- ②何事にも意欲的に取り組む人
- ③挨拶、礼儀等、基本的な生活習慣が身に付いている人

## 2 沿革

明治21年10月 5日	東京府教育会附属保姆傳習所として芝麻布共立幼稚園内に創立
大正15年 1月15日	府市合併による帝都教育会の発足とともに、その附属として東京女子師範学校内に移転
昭和18年 7月 1日	都制実施により東京都教育会の経営に移る
昭和24年 3月31日	東京都教育会の解散に伴い、社団法人東京師範同窓会の経営に移り、竹早教員養成所と改称
昭和24年 5月13日	東京師範同窓会理事長に橋本健太郎就任、翌年4月1日専任所長に就任
昭和28年 3月10日	社団法人東京学芸大学同窓会の経営に移る
昭和32年 1月25日	学校法人認可（学校法人竹早教員養成所）文部省指定教員養成機関認可、初代理事長・所長に橋本健太郎就任
昭和32年 4月27日	幼稚園教諭二級普通免許授与の指定（文部省）
昭和32年 7月 5日	文京区小石川4丁目1番16号に2階建新校舎竣工
昭和36年	校歌制定
昭和38年10月 5日	創立75周年記念式典を挙げる

昭和40年	9月14日	学校法人竹早教員養成所を学校法人竹早学園に組織変更認可 学校法人竹早学園つつじがおか幼稚園設置認可 初代園長に橋本健太郎就任
昭和40年11月	14日	つつじがおか幼稚園開園式挙行
昭和41年	4月1日	第2代所長に三浦義雄就任
昭和42年	6月11日	竹早教員養成所校舎三階増築
昭和43年	4月1日	第2代園長に古林清就任
昭和45年	4月1日	第3代所長に山崎道夫就任
昭和46年	3月10日	竹早教員養成所用として運動場用地購入(643㎡ 現第1校舎)
昭和47年	4月1日	第2代理事長に村山伊之助就任
昭和48年	3月31日	竹早教員養成所第2校舎増築完了
昭和50年	3月31日	竹早教員養成所夜間部廃止
昭和51年	4月1日	第4代所長に松村謙就任
昭和52年	4月1日	竹早教員養成所専修学校(2年制・幼児教育専門課程・幼稚園教員科)認可
昭和53年	4月1日	第3代園長に須田為経就任
昭和54年	1月27日	創立90周年祝賀会を開催
昭和55年10月	16日	第5代所長に小山昌一就任
昭和56年	9月1日	第3代理事長に藤井丈夫就任
昭和56年11月	7日	竹早教員養成所新校舎落成(地上4階建、現第1校舎)
昭和58年	9月1日	第4代理事長に高橋早苗就任
昭和58年10月	1日	第6代所長に照屋邦三就任
昭和59年	1月1日	第4代園長に高橋早苗就任
昭和59年	4月1日	第5代園長に小林一夫就任
昭和61年	2月15日	つつじがおか幼稚園創立20周年記念式挙行
昭和63年10月	5日	創立100周年記念式典
平成2年	3月29日	竹早教員養成所平成2年度の入学者から無期限の幼稚園教員養成機関として指定(文部省)
平成2年	4月1日	第7代所長に向山和彌就任
平成2年	8月29日	第5代理事長に宮本三五郎就任
平成3年	4月1日	第6代園長に栗岩英雄就任
平成3年	4月1日	つつじがおか幼稚園3年保育開始
平成5年	4月1日	つつじがおか幼稚園保育室2室増築及び遊戯室拡張
平成5年	7月	つつじがおか幼稚園プール設置
平成5年	9月2日	第6代理事長に吉田稻美就任
平成5年12月	25日	竹早教員養成所第2校舎(地下1階 地上5階建)落成(昭和32年に建築した校舎を全面改築)
平成6年	8月31日	竹早教員養成所保母を養成する学校として指定(厚生省) つつじがおか幼稚園保育室1室増築
平成7年	1月23日	竹早教員養成所幼稚園教員科の卒業生に専門士の称号を付与することを認定(文部省)
平成7年	4月1日	竹早教員養成所幼稚園教員・保母科設置 校名を「竹早教員保母養成所」と改称

平成 8年12月 4日	竹早教員保母養成所幼稚園教員・保母科の卒業生に専門士の称号を付与することを認定（文部省）
平成 9年 3月 5日	竹早教員保母養成所校地とし東京都文京区小石川4丁目81番地11所在の土地209.67㎡を東京都より購入
平成 9年11月30日	創立110年記念式、橋本健太郎先生胸像除幕式挙行
平成10年 5月 1日	第7代園長に秋山育也就任
平成10年10月19日	竹早教員保母養成所幼稚園教員・保母科の入学定員50名を100名に変更することを承認（厚生省）
平成10年12月22日	竹早教員保母養成所東京都文京区小石川4丁目81番地11に第3校舎（地下1階地上4階建）落成
平成11年 1月13日	竹早教員保母養成所幼稚園教員・保母科の入学定員50名を100名に変更することを承認（文部省）
平成11年 4月 1日	竹早教員保母養成所校名を「竹早教員保育士養成所」と改称 幼稚園教員・保母科を幼稚園教員・保育士科に変更
平成11年 4月16日	竹早教員保育士養成所平成12年度の入学者より男女共学とする
平成12年 9月 1日	竹早教員保育士養成所幼稚園教員・保育士科の入学定員100名を120名に変更することを承認（厚生省）
平成12年12月12日	竹早教員保育士養成所第二部幼稚園教員科入学定員100名を廃止し、幼稚園教員・保育士科の入学定員100名を120名とすることを承認（文部省）
平成16年 4月 1日	第8代所長に松澤剛就任
平成18年 4月 1日	第8代園長に加藤正克就任
平成20年 1月 8日	第7代理事長に石川保徳就任
平成20年 4月 1日	第8代理事長に吉野尚也就任 第9代所長に奥山英男就任
平成22年 3月26日	竹早教員保育士養成所幼稚園教員養成機関として再指定（文部科学大臣）
平成22年 4月 1日	第10代所長に齊藤光一就任
平成22年 9月	つつじがおか幼稚園園舎耐震補強完了
平成22年10月25日	竹早教員保育士養成所校舎耐震診断を実施
平成24年 7月	つつじがおか幼稚園備蓄倉庫設置
平成25年 4月 1日	第9代園長に北村幸江就任
平成25年 7月25日	竹早教員保育士養成所第二校舎土地東京都文京区小石川4丁目80-1、7、8（374.66㎡）を社団法人東京学芸大学同窓会から寄附により取得
平成26年12月 6日	つつじがおか幼稚園50周年記念式挙行
平成28年 9月21日	つつじがおか幼稚園駐輪場増設
平成29年10月 1日	竹早教員保育士養成所創立130周年、及び竹早教員保育士養成所同窓会創立80周年記念式典・祝賀会挙行
平成31年 1月29日	竹早教員保育士養成所幼稚園教員養成機関として再指定（文部科学大臣）

### 3 設置する学校・課程・学科等

- (1) つつじがおか幼稚園
- (2) 竹早教員保育士養成所 幼児教育専門課程 幼稚園教員・保育士科

### 4 令和4年度設置学校別入学定員及び収容定員・現員 (現員は令和4年5月1日)

つつじがおか幼稚園

	定員	入園者数	現員
年少	45	40	40
年中	45	0	32
年長	50	1	61
計	140	41	133

竹早教員保育士養成所

	定員	入学者数	現員
一年	120	60	62(2)
二年	120	0	87(3)
計	240	60	149(5)

( ) は、休学で内数

### 5 役員・教職員の概要

- (1) 役員
  - ① 理事 9名
  - ② 監事 3名
- (2) 役員交代 退任0名、就任0名
- (3) 評議員 19名
- (4) 教職員構成

つつじがおか幼稚園		竹早教員保育士養成所	
園長	1	所長	1
教諭	9	専任教員	10
保育補助	4	非常勤講師	32
事務主事	1	事務長	1
非常勤職員	1	事務主事	3

#### (5) 教職員の採用及び退職(専任)

- ① つつじがおか幼稚園
  - 採用 1名
  - 退職 0名
- ② 竹早教員保育士養成所
  - 採用 2名
  - 退職 0名

## 6 施設の概要

- |            |                              |
|------------|------------------------------|
| (1) 校地面積   | 2 9 6 2 . 5 6 m <sup>2</sup> |
| つつじがおか幼稚園  | 1 8 2 5 . 1 7 m <sup>2</sup> |
| 竹早教員保育士養成所 | 1 1 3 7 . 3 9 m <sup>2</sup> |
| (2) 建物面積   | 4 1 3 3 m <sup>2</sup>       |
| つつじがおか幼稚園  | 7 2 4 m <sup>2</sup>         |
| 竹早教員保育士養成所 | 3 4 0 9 m <sup>2</sup>       |

## II. 法人の事業概要

### 1 令和4年度事業概要

- (1) 理事会、評議員会は当初計画したとおり実施しました。
- (2) 教育の効果的な推進、自己点検評価の運営などを実施しました。
- (3) つつじがおか幼稚園園児募集活動は、新型コロナウイルス対策を行い入園説明会、プレ教室及び課外教室の充実を積極的に実施しました。  
竹早教員保育士養成所学生募集活動も新型コロナウイルス対策を行い、学校説明会の開催、高校ガイダンスなど広報活動を積極的に実施しました。
- (4) 財務状況は、竹早教員保育士養成所の学生数減少の影響により学園全体で支出超過となりました。

### 2 理事会等開催状況

- (1) 理事会  
第1回 令和4年 5月27日(金) 午後2時00分 本校第三校舎第7教室  
第2回 新型コロナウイルス感染症対策のため中止  
第3回 令和5年 2月16日(木) 午後2時00分 本校第三校舎第7教室
- (2) 評議員会  
第1回 令和4年 5月27日(金) 午後3時30分 本校第三校舎第8教室  
第2回 新型コロナウイルス感染症対策のため中止  
第3回 令和5年 2月16日(木) 午後3時30分 本校第三校舎第8教室

### 3 規程等制定・改定

特記すべきことは、ありません。

### 4 財務状況等の公開

- (1) 開示の内容  
学校法人竹早学園の財務決算書類の一部、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、事業報告書等を開示しました。  
竹早教員保育士養成所の高等教育修学支援新制度に対する資料等を開示しました。



## (2) 開示方法

竹早学園ホームページ（情報公開ページ）に掲載しました。

竹早教員保育士養成所ホームページ（情報公開ページ）に掲載しました。

竹早だより（竹早教員保育士養成所 第64号令和5年3月1日）に掲載しました。

## 5 令和5年度入園・入学向け選考

つつじがおか幼稚園は令和4年11月1日に実施しました。

竹早教員保育士養成所は、A選考（総合型選抜）1回、B選考（学校推薦型・自己推薦型選抜）3回、B選考（学校推薦型選抜＜指定校＞）2回、C選考（一般選抜）5回実施しました。

## 6 教育改革の推進

(1) 竹早教員保育士養成所は学生による授業評価を前期、後期、それぞれ各1回、実施しました。

(2) 竹早教員保育士養成所は令和4年度自己評価報告書を作成し、東京都へ提出しました。

また、学校関係者評価委員会で自己評価報告書を点検しました。

## 7 説明会等の実施

つつじがおか幼稚園は拡大プレ教室、入園説明会を8月27日（土）に実施し、プレ教室を5月9日（月）、5月16日（月）、5月23日（月）、5月30日（月）、6月6日（月）、6月13日（月）、6月23日（木）、6月30日（木）、7月4日（月）、9月12日（月）、9月26日（月）計11回実施しました。

竹早教員保育士養成所は、学校説明会を4月17日（日）、4月29日（金）、5月22日（日）、6月5日（日）、6月19日（日）、7月10日（日）、7月23日（土）、8月7日（日）、8月28日（日）、9月23日（金）、10月16日（日）、1月22日（日）、2月12日（日）、3月27日（月）計14回実施しました。

## 8 広報活動

つつじがおか幼稚園は、入園希望者対象に拡大プレ教室を1回実施、入園説明会を1回実施、プレ教室を11回実施しました。

竹早教員保育士養成所は、学校説明会を14回実施、その他に首都圏保育専門学校フェア（同業他校10校の合同説明会）に4回参加、高校等ガイダンスに114回（資料参加含む）参加しました。

## 9 施設整備主な状況

- (1) つつじがおか幼稚園、年少組トイレ改修工事
- (2) つつじがおか幼稚園、教職員用パソコン2台購入
- (3) つつじがおか幼稚園、園門フェンス修繕等
- (4) 竹早教員保育士養成所、第2校舎第3校舎間電話・光ケーブル配線修繕
- (5) 竹早教員保育士養成所、第1校舎3階排煙ワイヤー交換工事

- (6) 竹早教員保育士養成所、第7教室プロジェクター等音響設備一式設置
- (7) 竹早教員保育士養成所、第3校舎地下SDドア取替工事
- (8) 竹早教員保育士養成所、第2校舎地下1階、2階換気扇工事

その他諸工事の実施及び設備・備品等の整備

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1 事業活動収支計算書

令和4年度決算における活動区分ごとの収支差額は、教育活動収支では54,610,368円の支出超過、教育活動外収支では111,363円の収入超過となり、経常収支全体では54,499,005円の支出超過となりました。また、特別収支は85,405円の収入超過となりました。

事業活動収入は予算比8,021,340円減の249,747,166円、事業活動支出は予算比18,386,234円減の304,160,766円となりました。この結果、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は54,413,600円の支出超過となりました。

基本金組入額合計は2,900,912円で建物、構築物、機器備品、図書等の取得が計画とおり実施され第1号基本金に組み入れました。この結果、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差し引いた当年度収支差額は57,314,512円の支出超過となりました。

(事業活動収支計算書は別表のとおり)

#### 2 貸借対照表について

令和4年度末における資産、負債、基本金、繰越収支差額を前年度末と比較しています。

資産の部合計は1,933,102,926円で、前年度に対し43,589,856円減少しています。有形固定資産は建物、構築物、機器備品、図書等の取得、取替更新等による除却、そして減価の償却により前年度に対し29,553,569円減少しています。特定資産は取崩により前年度に対し2,569,000円減少しています。流動資産は主に現金預金の減少により前年度に対し12,921,896円減少しています。

負債の部合計は73,303,233円で、前年度に対し10,823,744円増加しています。主に前受金の増加による影響とみることができます。

資産から負債を差し引いた純資産の部合計は1,859,799,693円で、前年度に対し54,413,600円減少しています。

(貸借対照表は別表のとおり)

## IV. 各部門の活動の状況

### 1 つつじがおか幼稚園の主な活動

4月 7日	始業式	10月26日	やきいもパーティー
4月 8日	入園式	11月30日～	発表会・合奏発表
4月14日	交通訓練	12月1・6日	
5月11日	園児健康診断	12月 3日～	発表会・劇発表
5月13日	にこにこ会	12月12日	たこあげ会
5月27日	歯科検診	12月14日	おたのしみ会
6月24日	交通訓練	12月16日	終業式
7月 6日	七夕まつり	1月10日	始業式
7月15日	終業式	2月 1日	豆まき
7月19日	夏季休業中預かり保育開始	2月3・4日	作品展
9月 1日	始業式	2月28日	おわかれ会
10月 1日	運動会	3月 3日	ひなまつり会
10月 7日	交通訓練	3月15日	終業式
10月19日	いもほり	3月16日	修了式

### 2 竹早教員保育士養成所の主な活動

4月 4日	学業指導・講師連絡会	10月 3日	後期授業開始
4月 5日	学業指導・学生定期健康診断	10月17日	教育実習（1、2年）
4月 6日	入学式	～28日	
5月 7日	自然体験（1年）	11月24日	保育補助活動（2年）
～ 9日	【国立中央青少年交流の家】	12月18日	第63回保育研究発表会
5月23日	保育実習Ⅰ（施設）・Ⅱ（2年）	1月 4日	授業開始
～6月 4日		1月23日	保育実習Ⅰ（保育所）（1年）
6月 2日	幼稚園見学実習（1年）	～2月 4日	
7月 4日	保育実習Ⅰ（施設）、Ⅱ・Ⅲ（2年）	2月 1日	後期期末試験（2年）
～7月16日		～ 7日	
7月22日	前期期末試験（1年）	2月15日	後期期末試験（1年）
～7月28日		～21日	
8月22日	授業開始（2年）	3月13日	学業指導（2年）
9月 8日	施設見学実習（1年）	3月14日	学業指導（1、2年）
9月 8日	前期期末試験（2年）	3月15日	卒業式
～14日		3月16日	学業指導（1年）
9月 9日	保育所見学実習（1年）	3月23日	新入生召集日

### 3 竹早学園の主な活動

#### 理事会の議題等

第1回 令和4年5月27日（金）午後2時 竹早教員保育士養成所第三校舎第7教室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 人事案件について

第2号議案 つつじがおか幼稚園の施設型給付幼稚園移行中止について

第3号議案 令和3年度事業・財務決算報告及び監査報告について

その他

第2回 新型コロナウイルス感染症対策のため中止

第3回 令和5年2月16日（木）午後2時 竹早教員保育士養成所第三校舎第7教室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 退職金について

第2号議案 人事案件について

第3号議案 減価償却引当特定資産の一部運用について

第4号議案 授業料変更に伴う学則及び学則細則の改定について

第5号議案 令和4年度補正予算案について

第6号議案 令和5年度予算案について

その他

## 評議員会の議題等

第1回 令和4年5月27日（金）午後3時30分 竹早教員保育士養成所第三校舎第8教室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 人事案件について

第2号議案 つつじがおか幼稚園の施設型給付幼稚園移行中止について

第3号議案 令和3年度事業・財務決算報告及び監査報告について

その他

第2回 新型コロナウイルス感染症対策のため中止

第3回 令和5年2月16日（木）午後3時30分 竹早教員保育士養成所第三校舎第8教室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 退職金について

第2号議案 人事案件について

第3号議案 減価償却引当特定資産の一部運用について

第4号議案 授業料変更に伴う学則及び学則細則の改定について

第5号議案 令和4年度補正予算案について

第6号議案 令和5年度予算案について

その他

# 資 金 収 支 計 算 書

令和4年4月 1日から

令和5年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	197,600,000	190,609,500	6,990,500
手数料収入	2,400,000	2,125,300	274,700
寄付金収入	110,000	110,000	0
補助金収入	49,550,000	49,019,605	530,395
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	2,700,000	2,776,250	△ 76,250
受取利息・配当金収入	131,000	111,363	19,637
雑収入	4,277,506	4,337,821	△ 60,315
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	67,600,000	55,850,000	11,750,000
その他の収入	11,379,000	34,112,468	△ 22,733,468
資金収入調整勘定	△ 73,800,000	△ 52,797,046	△ 21,002,954
前年度繰越支払資金	330,466,255	330,466,255	
収入の部 合 計	592,413,761	616,721,516	△ 24,307,755
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	198,100,000	190,078,930	8,021,070
教育研究経費支出	72,040,000	63,646,408	8,393,592
管理経費支出	20,095,000	17,844,668	2,250,332
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	200,000	2,178,106	△ 1,978,106
設備関係支出	4,000,000	1,305,580	2,694,420
資産運用支出	4,010,000	24,008,440	△ 19,998,440
その他の支出	6,200,000	10,973,427	△ 4,773,427
〔予 備 費〕	0		0
資金支出調整勘定	△ 6,200,000	△ 6,603,558	403,558
翌年度繰越支払資金	293,968,761	313,289,515	△ 19,320,754
支出の部 合 計	592,413,761	616,721,516	△ 24,307,755

# 事業活動収支計算書

令和4年4月 1日から

令和5年3月31日まで

(単位：円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収入の部	事業活動収入	学生生徒等納付金	197,600,000	190,609,500	6,990,500	
		手数料	2,400,000	2,125,300	274,700	
		寄付金	610,000	190,410	419,590	
		経常費等補助金	49,550,000	49,019,605	530,395	
		付随事業収入	2,700,000	2,776,250	△ 76,250	
		雑収入	4,277,506	4,337,821	△ 60,315	
		教育活動収入計	257,137,506	249,058,886	8,078,620	
教育活動支出の部	事業活動支出	人件費	195,531,000	187,509,930	8,021,070	
		教育研究経費	105,310,000	96,476,609	8,833,391	
		管理経費	20,705,000	18,284,415	2,420,585	
		徴収不能額等	500,000	1,398,300	△ 898,300	
		教育活動支出計	322,046,000	303,669,254	18,376,746	
		教育活動収支差額	△ 64,908,494	△ 54,610,368	△ 10,298,126	
教育活動外収入の部	事業活動外収入	受取利息・配当金	131,000	111,363	19,637	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	131,000	111,363	19,637	
	教育活動外支出の部	事業活動外支出	借入金等利息	0	0	0
			その他の教育活動外支出	0	0	0
			教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	131,000	111,363	19,637		
	経常収支差額	△ 64,777,494	△ 54,499,005	△ 10,278,489		
特別収入の部	事業活動収入	資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	500,000	576,917	△ 76,917	
		特別収入計	500,000	576,917	△ 76,917	
	特別支出の部	事業活動支出	資産処分差額	501,000	491,512	9,488
			その他の特別支出	0	0	0
			特別支出計	501,000	491,512	9,488
	特別収支差額	△ 1,000	85,405	△ 86,405		
	〔予備費〕	0	0	0		
	基本金組入前当年度収支差額	△ 64,778,494	△ 54,413,600	△ 10,364,894		
	基本金組入額合計	△ 2,600,000	△ 2,900,912	300,912		
	当年度収支差額	△ 67,378,494	△ 57,314,512	△ 10,063,982		
	前年度繰越収支差額	△ 243,923,918	△ 243,923,918	0		
	基本金取崩額	171,150	171,150	0		
	翌年度繰越収支差額	△ 311,131,262	△ 301,067,280	△ 10,063,982		
(参考)						
	事業活動収入計	257,768,506	249,747,166	8,021,340		
	事業活動支出計	322,547,000	304,160,766	18,386,234		

# 貸 借 対 照 表

令和5年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	1,604,302,336	1,634,970,296	△ 30,667,960
有形固定資産	1,153,754,801	1,183,308,370	△ 29,553,569
特定資産	333,425,330	335,994,330	△ 2,569,000
その他の固定資産	117,122,205	115,667,596	1,454,609
流動資産	328,800,590	341,722,486	△ 12,921,896
現金預金	313,289,515	330,466,255	△ 17,176,740
その他	15,511,075	11,256,231	4,254,844
資産の部合計	1,933,102,926	1,976,692,782	△ 43,589,856
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	10,957,500	13,526,500	△ 2,569,000
流動負債	62,345,733	48,952,989	13,392,744
負債の部合計	73,303,233	62,479,489	10,823,744
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	2,160,866,973	2,158,137,211	2,729,762
繰越収支差額	△ 301,067,280	△ 243,923,918	△ 57,143,362
純資産の部合計	1,859,799,693	1,914,213,293	△ 54,413,600
負債及び純資産の部合計	1,933,102,926	1,976,692,782	△ 43,589,856